

非行・犯罪行為に至った知的障害者を支援し続ける人のための  
双方向参加型研修会2021（実践者研修会）

# トラウマインフォームドケア

## ～対象者と支援者・組織の安全を高めるアプローチ～

福祉分野において、非行や犯罪をした障害者への支援が広がり始めてから10年以上が経過しました。この間、支援に携わる人が次第に増えてくるとともに、当事者には多様で複雑化した支援ニーズがあることが認識されるようになってきました。一方、支援の目的や方法、具体的な対応のあり方などについての情報を得たり、議論したりする場はまだまだ限られています。そこで、この領域での実践に関連する課題について参加者の方とともに考え、学ぶ機会として実践者研修会を企画いたしました。

今回は、「トラウマインフォームドケア」をテーマとして基調講演と鼎談を開催するとともに、テーマ別に演習形式での3つの分科会を実施します。トラウマの存在を認識し、「トラウマを理解した対応」をするとはどういうことなのか。新たな視点を参加者の皆さんと共有できればと思います。日ごろより支援に携わっている皆さんの参加をお待ちしています。

### 基調講演

## トラウマインフォームドケア

### ～対象者と支援者・組織の安全を高めるアプローチ～

講師 大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 野坂祐子 氏

オンデマンド配信期間

令和3年12月1日（水）～令和4年3月15日（火）

支援において、対象者の行動の理解が難しかったり、関わりがうまくいかなかったりするとき、相手を非難したり、同じ指導を繰り返したりするのではなく、まずは「何が起きているのだろうか？」という視点で捉えることが求められます。トラウマ（心的外傷）となるような傷つき体験の影響を見逃さずに、安全な関係性を築くアプローチとして、トラウマインフォームドケア（トラウマを理解した関わり）について紹介します。

### 鼎談

オンデマンド配信期間

令和4年2月15日（火）～令和4年3月15日（火）

講師 大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授 野坂祐子 氏  
立命館大学法学部 教授 森久智江 氏  
国立のぞみの園 参事 水藤昌彦 氏  
(山口県立大学社会福祉学部教授)

参加者の皆様から事前にいただいた質問を手がかりにしながら、基調講演の内容をさらに深めていきます。

### 分科会

オンラインによるグループワーク開催日時

令和4年2月17日（木）9:30～16:00

※分科会の詳細については裏面をご覧ください

**参加費：3,000円（資料代として）**

**申込期間：令和3年11月8日（月）～令和4年1月21日（金）**

**定員：なし（各分科会については20名）** 基調講演と鼎談のみでもご参加いただけます。

お申込み・お問い合わせ先はこちら

独立行政法人  
国立重度知的障害者総合施設のぞみの園  
研修養成課 木村・山口

〒370-0865

群馬県高崎市寺尾町2120-2

TEL: 027-320-1357

MAIL: nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp

## 分科会

各分科会 定員20名  
(定員になり次第、締め切とさせていただきます)

### 第1分科会 女性とトラウマ

水藤昌彦(国立のぞみの園/山口県立大学) 脇中洋(大谷大学)  
山田真紀子(大阪府地域生活定着支援センター) 岡本萌(国立のぞみの園)

当事者による「問題行動」。でも、それはトラウマを体験した人が、その人なりに状況へ懸命に対処しようとした結果と考えることもできるのでは？本分科会では、基調講演と鼎談の内容を踏まえながら、特に女性とトラウマの関係に着目して、架空事例を検討するグループワークを通じて参加者の皆さまとともに支援について考えます。

### 第2分科会 非行・犯罪と虐待

西原実(大阪保護観察所) 福西毅(大阪保護観察所堺支部)  
山崎康一郎(日本福祉大学) 大村美保(筑波大学) 佐々木茜(国立のぞみの園)

非行・犯罪行為のある障害者の中には、虐待や暴力、いじめなどの被害を経験している人も少なくありません。そうした対象者への保護観察や福祉における対応について、架空事例を用いたグループワークを通して考えていきます。特に、トラウマやアタッチメント、発達の視点から対象者との関係構築や介入方法について、参加者の皆様と討議や情報交換を行います。

### 第3分科会 地域における多職種連携

原田和明(大阪手をつなぐ育成会) 木下大生(武蔵野大学)  
益子千枝(兵庫県地域生活定着支援センター) 渡邊守(国立のぞみの園)

罪を犯した障害者の地域支援では、一般的な支援の実践と、罪を犯した人の特性に応じた支援の実践の両方が必要となります。様々な職種の複数の専門職が連携して行う、寄り添い支援によって、自立への自己決定を当事者に促すことが望まれます。この分科会では、入口支援において特に重要となる更生支援計画の作成を通じ、専門職の連携について実践的に学びます。そして、その学びを実際の支援に活かしていただきたいと思います。

## お申込み方法

#### ▶ 申し込みフォームからお申し込みください

国立のぞみの園ホームページ <https://www.nozomi.go.jp/>

養成・研修 > 研修のご案内 > 非行・犯罪行為に至った知的障害者を支援し続ける人のための  
双方向参加型研修会2021(実践者研修会)

「基調講演・鼎談・分科会」または「基調講演・鼎談」を選択してお申し込みください



\*申込期日：令和4年1月21日(金)

#### ▶ 参加費の払込について

■申し込みフォームの受付最終画面にて、受付番号と払込口座のご案内をいたしますので、スクリーンショットなどで画面を保存することをお勧めします(自動返信はありませんので、ご注意ください)。

- ・ゆうちょ銀行備え付け払込取扱票の通信欄に(①受付番号、②受講者名、③住所、④振込者名)をご記入ください
- ・払込手数料はご自身でご負担をお願いします
- ・領収書の発行は行っておりませんので、払込時の受領証を大切に保管ください

\*払込期間：令和4年1月31日(月)

## 視聴および資料ダウンロードについて

■参加費の払込が確認できましたら、配信の約1週間前に、資料のダウンロードと視聴ページのURLを、お申込みいただいたメールアドレスにお送りいたします。※URL送付後のキャンセルはできませんのであらかじめご了承ください

※お申し込みの際には、以下についての同意が必要となります。

- ・本研修会は個人情報等が含まれる内容となりますので、守秘義務を遵守してください。
- ・当法人および著作権者からの許可なく、資料の一部およびすべてを複製、転載、または配布、印刷など、第三者の利用に供することは禁止いたします。また、録音、撮影等は固くお断りいたします。